

第5回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成17年2月28日（月） 県庁本館4階大会議室	
委員 (委員数5名) (出席数4名)	委員長 萩野 聡 (富山大学経済学部教授) 委員 石黒 厚子 (財団法人北陸経済研究所主任研究員) 委員 島谷 武志 (弁護士) 委員 高見 まち子 (税理士) 委員 広瀬 慎一 (富山県立大学短期大学部長)	
次第	1 開 会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 (1)入札・契約方式別発注工事について (2)指名停止等の運用状況について 3 審議対象工事の抽出結果の報告 (萩野委員長) 4 発注工事の審議 (抽出案件) 5 閉 会	
審査対象期間	平成16年4月1日 ～ 平成16年9月30日	
審議案件	10件 (対象工事総件数 1,403件)	
公募型指名競争入札	1件	・白岩川広域基幹河川改修東導流堤基礎工工事
通常型指名競争入札 (5千万円以上)	2件	・富山空港整備飛行場灯火監視制御装置製造工事 ・林道開設ふれあいの森線北谷工区工事
通常型指名競争入札 (5千万円未満)	6件	・一般県道虎谷大榎線地方特定災害防除擁壁工第1工区工事 ・都市計画道路二口北野線臨時街路交付金道路改良第1工区工事 ・中泊地区急傾斜地崩壊防止切土工工事 ・ほ場整備 (担い手育成型) 北山田北部地区第20工区工事 ・水源地域「小又川」山腹工事 ・利賀川工業用水道事業配水管布設工事
随意契約	1件	・庄東第一発電所水車発電機修繕工事
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会としての意見	平成16年度上半期発注工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていると判断する。	

(問合せ先) 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
 富山県土木部管理課業務係
 電話番号：076-444-3309

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○不落の場合に行われる随意契約のやり方は。</p> <p>○不落による随意契約の場合、業者からすれば差が小さくても、当初の入札額よりも低い価格で受注することになる。その結果、業者が随意契約に応じない場合はどうなるのか。</p> <p>○各会社の指名回数に差が出てくるのはどうしてか。</p> <p>○指名業者選定要綱に定める選定基準以外の理由で選定した場合は、その具体的な内容を明示すること。</p> <p>○予定価格の事前公表の実績はどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計書の精査を行い、設計額が妥当な場合で、入札額と予定価格との差が大きいときは、指名業者を入れ替えて再度入札を行う。差が小さいときは、最低入札者から見積書を提出してもらい、予定価格の範囲内であれば、随意契約を行う。 ・ そのような場合は、設計額を再確認し、妥当であれば、別途指名業者を入れ替えて、再度入札を行う。 ・ 工事内容に応じて、その工事に適した業者を選定しているためである。 ・ 内容を明示することとしているが、今後さらに徹底する。 ・ 本年度の事前公表試行内容を検証した結果、特段の問題点は認められなかった。 このため、次年度から試行対象を拡大することとしている。
<p>(その他) 今回は、16年度下半期発注工事について、6月上旬頃を目途に開催予定</p>	